

# 子どもたちのシビックプライド 醸成について

平成 27 年 11 月 18 日  
北九州市教育委員会

# 本市ゆかりの先人や伝統文化など

## 地元の誇りとする文化を継承する取組み

世界文化遺産に登録された「官営八幡製鐵所関連施設」、詩人みずかみかずよなどの本市ゆかりの先人、各地域における祭りや行事などの伝統文化や歴史など、地元の誇りとする文化等について、子どもたちが学び、触れる取組みを推進します。

### 学校での主な取組み

#### ○北九州道徳郷土資料の活用

郷土の先人や伝統文化のよさにふれ、郷土のすばらしさに対する思いを深めることができる価値ある資料をまとめた「北九州道徳郷土資料」を活用して、郷土を愛する心を育てます。

#### 【取り上げている郷土の偉人】

- ・ 詩人 みずかみかずよ
- ・ マラソンランナー 君原健二
- ・ 和太鼓職人 村田純寛
- ・ 気象学者（竜巻） 藤田哲也
- ・ 住宅地図 大迫忍
- ・ 石炭商 佐藤慶太郎
- ・ 医師 川原尚行 ほか



### 地域での主な取組み

#### ○小中学校による地元の祭りや伝統行事への参画

本市には、それぞれの地域で伝承されている祭りや伝統行事が数多くあり、子どもたちもそれらに参加し、地域の方々と交流しながら、未来の担い手、伝承者として育かれています。また、学校をあげて参加している伝統行事などもあり、伝統行事などを介して、子どもと地域の方々の交流が盛んになるなど、学校と地域の良い関係が構築されています。

#### 【学校をあげて参加している伝統行事の例】

- ・ 合馬小学校（合馬神楽）
- ・ 藍島小学校（藍島盆踊り）
- ・ 中島小学校（小倉祇園太鼓）
- ・ 穴生小学校（穴生鷹見楽太鼓）
- ・ 大原小学校（大原太鼓） など



合馬子ども神楽  
(合馬小学校)



小倉祇園太鼓競演会への参加  
(中島小学校)

## 家庭での主な取組み

### ○子どもを対象とした文学への取組み

森鷗外や火野葦平、林芙美子、松本清張などゆかりの深い著名な作家を多数輩出している本市では、これまでも、文学館や松本清張記念館といった施設の運営やさまざまな文学事業を通じて、「文学の街・北九州」の発信に取り組み一定の成果をあげてきました。

子どもを対象とした文学賞も多く開催し、子どもたち自身が「文学の街・北九州」を発信する一翼を担っています。

#### 【子どもを対象とした文学賞】

- ・子どもノンフィクション文学賞

H26実績：1,041点

H27実績：11月29日まで募集

- ・あなたにあいたくて生まれてきた詩コンクール

H26実績：1,649点

H27実績：2,366点

- ・櫓山荘 子ども俳句大会

H26実績：4,068点

H27実績：4,289点

- ・松本清張作品を課題とした「読書感想文」

H26実績：406点

H27実績：10月31日まで募集



### ○こども文化パスポート事業（再掲）

#### 今後の方向性

#### ●子ども、教職員への本市の歴史や文化の理解を深める取組み

世界文化遺産として登録された「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の官営八幡製鐵所関連施設について、子どもたちが学ぶ機会を提供するとともに、世界遺産をきっかけに本市の歴史や文化に興味を持つことができるような取組みを検討します。また、教員に本市の世界遺産や歴史、文化について、造詣を深めてもらい、そこで得た知識を授業等を通して子どもたちに伝える指導方法などについて学ぶ、研修・講座の開催について検討します。



官営八幡製鐵所旧本事務所

# 音楽や美術など文化芸術・スポーツに触れる取組みを通じた、将来を担う人材の育成

美術館などでの鑑賞事業や、学校訪問コンサートなどのアウトリーチ活動、芸術劇場におけるワークショップなど、子どもたちが音楽や美術など文化芸術に触れる機会や、大規模なスポーツ大会やプロスポーツの試合等を通して、子どもたちがスポーツを身近に感じることができる取組みを推進し、将来の文化芸術・スポーツを担う人材育成につなげていきます。

## 学校での主な取組み

### ○学校等への訪問公演等

北九州市出身の芸術家や国内外の一線で活躍する芸術家などが学校などを訪問し、公演やワークショップを行います。

(平成 26 年度実績)

- ・北九州芸術劇場や響ホール等による訪問公演
- ・渡辺知子一座によるスクールコンサート
- ・日本センチュリー交響楽団による訪問公演
- ・学校出前落語鑑賞会  
(市民文化スポーツ局所管事業も含む)

### ○北九州市中学生合唱フェスティバル

音楽を通して、子どもたちに豊かな情操を育むとともに、音楽や合唱に親しむ本市の文化的風土を醸成するため、「北九州市中学生合唱フェスティバル」を開催します。(平成 28 年 2 月 7 日開催予定)

### ○北九州市中学校文化総合発表会

音楽活動(合唱、吹奏楽、箏など)、演劇、書写、絵画、生花、茶道、英語スピーチ、理科研究等、市内中学生の文化活動を広くアピールする発表会を行います。



## 地域・家庭での主な取組み

### ○美術館や劇場・ホールにおける

#### 鑑賞事業等

北九州芸術劇場や響ホール、北九州市立美術館などに、子どもたちが実際に行き、一流の芸術に触れる機会を設けます。

(平成 26 年度実績)

- ・TAO(和太鼓による演奏と演舞)の鑑賞
- ・北九州国際音楽祭の鑑賞
- ・北九州市立美術館の作品の鑑賞
- ・キッズのための初めての音楽会
- ・子どもたちの劇場シリーズ
- ・子供のためのシェイクスピア
- ・ファミリーパイプオルガンコンサート  
(市民文化スポーツ局所管事業も含む)

### ○北九州市ジュニアオーケストラ、北九州市少年少女合唱団の育成事業

演奏や合唱を通じて、技術向上をはかるだけでなく、子どもたちの感性や情操を育みます。  
(市民文化スポーツ局)

### ○美術館における教育普及事業

美術館を活用した授業への支援(小学生美術鑑賞教室)や子ども向けワークショップを実施し、子どもたちが美術館を身近に感じることのできるような取組みを進めます。(市民文化スポーツ局)

## ○博物館セカンドスクール事業

博物館を第二の学校（教室）としてとらえ、子どもたちの来館機会を創出し、新しい発見や感動をもとに理科・社会科への学習の意欲を持たせる仕組みづくりを行います。（市民文化スポーツ局）



## ○子ども文化パスポート事業

子どもたちが、地域の文化・歴史・自然に接することにより、豊かな心を育くむとともに親子のふれあう機会を増やすことを目的として、夏休み期間中に、文化施設をはじめとするさまざまな施設に無料（一部割引）で入場できるなど施設で特典が受けられるパスポートを配布しています。

【平成 27 年度実績】

- ・パスポート利用者数 延べ 53,935 人
- ・対象施設 全 64 施設  
（うち北九州市 42 施設、  
下関市 18 施設、  
長門市 4 施設）

## ○さまざまなスポーツに

### 触れる機会の充実

全国的なスポーツイベントである北九州マラソンや、本市ゆかりのトップアスリートから直接スポーツの指導を受ける取組みなどを通して、子どもたちが、さまざまなスポーツに触れる機会を充実していきます。（市民文化スポーツ局）

#### ・北九州マラソン

子どもたちが参加できる「ファンラン」や、親子で参加する「ファミリーボランティア」、沿道での応援参加 など

#### ・夢・スポーツ振興事業

トップアスリートによるスポーツ指導 など



北九州マラソンの様子

## 今後の方向性

### ●音楽や美術・スポーツなどに子どもたちが触れ、体験する機会や子どもたちが発表する機会の充実

学校だけでなく、美術館や博物館、劇場、ホールなどとの連携をさらに深め、プロの音楽家の演奏や絵画などの作品に触れる機会を充実していきます。また、トップアスリートとの交流やスポーツイベントを通して、さまざまなスポーツに触れる機会を充実していきます。

さらに、文化・芸術に関する子どもたちが自らの活動を発表するフェスティバルの開催などについて検討します。



# 環境未来都市としての

# 独自性を活かした環境教育

環境未来都市としての独自性を活かし、本市の豊かな自然環境や環境教育施設などの資源を活用し、子どもたちの体験活動を通じた環境教育を推進します。

## 学校での主な取組み

### ○環境教育推進事業

環境未来都市としての北九州市の独自性を活かし、体験的な学習を通して子どもたちの環境に対する認識を深めるとともに、環境の保全やよりよい環境の創造のために主体的に行動する実践的な態度や資質、能力の育成を図ります。

### ○「環境体験科」推進事業

環境の保全に主体的に取り組む態度の基盤となる環境保全への関心・意欲の喚起を図るために、平尾台や山田緑地などの豊かな自然に直接接触することや、環境ミュージアム等の環境教育関連施設を活用した体験活動をする学習を小学校 4 学年の総合的な学習の時間に行います。



ビオトープでの活動



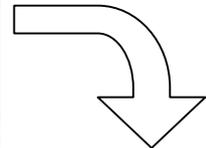
環境ミュージアムでの学習

### ○「北九州市環境キャラバン」の実施

環境未来都市として、北九州市の環境を支える次世代の人材づくりに資するため、小学校 5 年生から中学 1 年生を対象にした環境体験学習を実施し、環境体験科などで学んだことを基盤に、さらに積極的に環境に働きかける子どもリーダーを育成します。



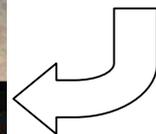
体験学習



意見交換会



発表会



### ○わが街わが校の環境作戦

市内全校・園において、特色ある「わが校・園の環境教育」を推進します。その実施内容をホームページにまとめ取組みを普及します。併せて、優秀な取組み（個人・団体）を募集し、表彰を行います。

## ○北九州市ユネスコスクール推進指定校の指定

環境教育・国際理解教育など、持続可能な社会の実現に向けて積極的に取組みを推進する学校を、本市のESD推進拠点校として、ユネスコスクール推進指定校に15校を指定しています。現在、そのうち7校が、ユネスコ本部が認定するユネスコスクールに登録され、ユネスコスクール・ネットワークの活用や、地球規模の諸問題などに若者が対処できるような新しい教育内容や手法の開発、発展を目指す取組みを行っています。

### ユネスコスクール本部加盟登録校

登録年	登録校
平成24年	尾倉中学校
平成25年	すがお小学校 赤崎小学校 市丸小学校 早鞆中学校
平成26年	藤松小学校 鞘ヶ谷小学校



地域の特性を生かし、人とのつながりを大切にされた実践活動

## 地域での主な取組み

### ○北九州環境みらい学習システム「ドコエコ！」推進事業

本市の恵まれた自然や、環境ミュージアム、エコタウン等充実した環境関連施設を結び付けてまち全体で楽しく環境学習できる仕組み「環境みらい学習システム『ドコエコ！』」を拡充します。また、環境学習情報誌「ドコエコ！キタQ」や環境体験学習施設案内などを活用し、楽しみながら環境への興味を喚起します。さらに、環境首都検定の学校受検の推進、市内10大学連携事業「北九州まなびとESDステーション」との連携促進などにより、学びの場づくりを進めます。（環境局）



平尾台などの本市の豊かな自然を生かした学習や体験活動



公害を克服した歴史やその過程で培われた環境保全技術の継承

## 今後の方向性

### ●ESDの視点を踏まえた環境体験学習の推進

本市は、環境未来都市としての独自性を生かした環境に関する様々な取組みを推進してきました。特に、「環境体験科」や「北九州市環境キャラバン」などを通して、子どもたちが環境について主体的に取り組む素養が身についています。今後も、本市の独自性を生かし、持続可能な社会の担い手を育てるESDの視点を踏まえた環境体験学習を推進します。

また、平成28年5月1～2日に伊勢志摩サミットの関係閣僚会合としてG7北九州エネルギー大臣会合が開催されます。これに関連して、子どもたちがエネルギーや環境保全などについて考えるプレイベントなどの検討を行います。



環境体験科

# 地元企業などと連携・協力した キャリア教育

本市には「モノづくり」をはじめ、さまざまな分野で、独創的な製品や技術、サービスを提供する優れた中小企業を含めた地元企業があります。こうした特性を活かし、小学校応援団など地元企業と連携・協力したキャリア教育を実施し、子どもたちに「モノづくりのまち」という本市の特性や魅力ある地元企業を知ってもらう取組みを進めます。

## 学校・地域での主な取組み

### ○学校でのキャリア教育

学校生活から社会生活へ円滑に移行できるように、小・中学校で連携しながら児童生徒の発達の段階に応じたキャリア発達を支援し、学校教育活動全体を通して望ましい勤労観・職業観を育成します。

#### 【体験的な学習の取組例】

(小学校)

- ・地域の探検
- ・家族や身近な人の仕事調べやインタビュー
- ・商店街、工場などでの職場見学
- ・中学校の体験入学 など

(中学校)

- ・家族や身近な人の職業観聴き取り調査
- ・職業人、社会人講話
- ・職場体験活動 など



職場体験



農業体験

### ○中学校における「キャリア教育講演会」

職業について、専門的な知識や技能、情報等を持っている人(キャリアアドバイザー)を講師として、学校に招き、講話・実演・指導等を行ってもらうことで、生徒に今後の人生や進路を考える契機を提供し、併せて望ましい勤労観・職業観の涵養を図っています。

【講師】(平成26年度)

- ・北九州技の達人(7校)
- ・地域等の人材など(33校)

### ○「職場体験」

中学生が直接、職場に出向き、働く人と接することにより、実際的な知識や技術・技能に触れるとともに、学ぶことの意義や働くことの難しさややりがいを理解し、社会の一員として働くことの大切さを体験させることを目的としています。生徒は少人数に分かれ、地域の商店街や保育所、老人ホーム等において数日間の職場体験を行っています。

【体験の概要】(平成26年度)

- ・地域企業や商店での職業体験学習(34校)
- ・農業宿泊体験活動(57校)

## ○経済界との連携による学校支援事業 (小学校応援団)

企業の力を子どもの教育に生かすため、地元企業を中心とした 224 社が「北九州の企業人による小学校応援団」を結成し、学校応援プロジェクトとして、出前授業や体験学習授業などの支援を行っています。

### 【取組み例】

- ・走り方教室
- ・ブロックを使った設計体験
- ・石けんづくり教室
- ・地図づくり
- ・お菓子ケーキづくりについての指導
- ・バスの安全と利用のマナー など



走り方教室



設計体験

## ○北九州ゆめみらいワーク

地元企業や大学等の魅力を発信するとともに高校生や中学生等に職業観を醸成することを旨とした「北九州ゆめみらいワーク」開催します。

### 【平成 27 年度実績】

開催日時：平成 27 年 8 月 28 日、29 日

開催場所：西日本総合展示場 新館

出展企業・団体：77 企業・団体

出展専門学校：12 校

出展大学・短期大学・高等専門学校：22 校

出展高等学校：4 校

参加人数：6,355 名

(産業経済局)



会場全体



企業ブース

## 今後の方向性

### ●地元企業等と連携した取組み

子どもたちに望ましい勤労観、職業観の育成を図るためには、幼・小・中・高を通じて組織的・系統的に取り組むとともに一人一人の発達に応じた指導を実施します。また、学校だけではなく、地域の企業や、卒業生などとの連携を一層深め、本市の多様な資源を活用しながら、子どもたちが、自分の将来について考えることができるような、職場体験などに取り組めます。さらに、小学校応援団等とも連携し、子どもたちの興味関心を喚起するような授業を展開します。



キャリアアドバイザーによる講演